

令和元年度第4回大野城市子どもに最適な学期制審議会会議録

- 期 日 令和元年 12 月 11 日（水）
- 時 間 午前 10 時 00 分～11 時 50 分
- 会 場 大野城市役所新館 4 階 426 会議室
- 出席者 審議会委員：出席 15、欠席 0
事務局（梶指導室長、西岡係長、藤田総括指導主事）

1 開会

傍聴者なし

2 委員長挨拶

3 事務局説明

- 2 学期制と 3 学期制の特徴について
- 教育委員会と学校における対応について
- 本市におけるアンケート調査結果について

4 審議

(1) 報告内容に基づく質疑・意見・感想

【主な質問や意見等】

- ・校務支援システム C 4 t h とはどのようなものか、その内容と導入効果について。
- ・新学習指導要領の実施に関し、学習指導要領とは何か、何が変わるのか。
- ・大野城市における小・中学校の連携はどうなっているか。
- ・成績処理の手順はどうなっているか。
- ・大野城市の小中連携は、9 年間で子どもを育てようとしていて、とても素晴らしいことだと思う。ぜひ、継続してほしい。
- ・子どもの評価は細かに行ってほしい。
- ・先生方の働き方が話題に上がっているが、子どもたちにとってどれが良いのかということをお忘れずにまとめていきたい。
- ・あくまでもベースは子どもたちにあり、そこに、先生達の働き方の改革という視点をのせていきたい。
- ・通知表作成が 1 回減ることで、教師に子どもと向き合う時間のゆとりが生まれるのではないか。
- ・子どもをしっかり評価して、子どもの学習に対する意欲をしっかり維持させたり目標を持たせたりすることは必要ではないか。
- ・子どもたちに関わる時間、保護者と関わる時間がたくさんとれるような学期制になればよいと思う。
- ・ゆとりを持った、休みのバランスなどを考えた 3 学期制が良いのではないかと
思う。
- ・小中の連携を考えると、小学校と中学校の学期制は揃えた方が良いのではないか。

- ・ 2学期制でも3学期制でも、どちらにしても、なぜそうするのか問題点をはっきりさせた上で決めるべきだと思う。
- ・ どちらにもメリットがある。2学期制でもよいのかと思うが、子どもに対して心豊かな教育をしていただければ良い。
- ・ どちらがよいか、よくわからない。

(2) これまでの審議のまとめ

【委員長の見解】

これまでの審議を踏まえ、答申は3学期制とする。ただし、5つの条件をつける事とする。

- ①これまでどおりの3学期制ではなく、2学期制のよさを取り入れること。
- ②3学期制にかかる課題解決のための方策を明示すること。
- ③子どもと向き合う時間をどのように捻出するか。具体的な方策を述べること。
- ④小中学校の先生方も、再度、学期制について振り返ったり見直したり、考えたりすること。
- ⑤学習指導要領が約10年ごとに見直されているので、学期制も10年後に再度見直す、あるいは定期的に見直すという方向を示してはどうか。このことについては事務局で検討すること。

(3) 次回は、答申案を審議する。

5 連絡

(1) 子どもに最適な審議会 次回の日程

○第5回審議会

令和2年2月26日(水) 10:00～ 大野城市役所本館5階511会議室

6 閉会